

2023年度 事業報告

社会福祉法人 和生福会

1. 2023年度 事業報告の概要

- 業績等
 - 収益
 - 法人全体の収益は前年度比0.6%増収
 - 稼働率
 - 入所系サービスで特養は99.5%、短期入所は69.1%の平均稼働率となり1.9%下った。
 - 通所系サービスは、昨年度平均稼働率が88.2%だったが、今年度は87.1%となり1.1%下った。要介護比率も0.5%下った。
 - 居宅サービスは、担当件数が5.9%増えた。
 - 収支改善
 - 法人全体の収支差額は前年比135.5%となった。
 - 2年連続高圧ケーブルが断線し復旧工事を要した。しかし、今年度は落雷によるものであったので、保険金がおりました。
 - 昨年に引き続き業務の効率化の実施と適材適所人員配置の実施。
- サービスの質
 - コロナ禍があけ多種多様なレクリエーションを実施し、QOLとADLの維持向上を目的とした余暇活動の企画、実施した。
 - 昨年に引き続き利用者個々に応じた車椅子(モジュール車椅子)等福祉用具を選定し、使用頂けるようにした。
 - 近隣の病院からの退院後、言語聴覚士による食事介助指導を受けた。また岸和田平成病院の言語聴覚士に来苑頂き関連職種へ指導を行ってもらった。
 - コロナ禍で中止していた家族様参加のイベントや家族懇談会を再開し、家族様との交流を図った。
- 人材の確保、育成
 - 職員(介護、調理師)は一旦は補充採用できたが、新たな退職がでている。次年度に向け採用活動が課題。

- 事業所内フロア異動による人員配置の適正化を行った。
- 研修の実施
 - 介護職員技術研修実施
 - 職種、経験や個人の特性に即した研修の実施（WEB活用）
 - 目標管理ツールOKR手法を使用し、自己研鑽と問題解決にチームで取り組んだ。
- キャリアパス制度の整備など人事管理、制度の適正化継続中
- 令和5年度介護福祉士試験合格者1名
- HPやSNSを利用した広報活動を行い、緑風苑の認知度をあげた。
- グループ内の連携
 - 相互に連携、協力体制をもち、ノウハウなどの利点を最大限に生かす。
 - 勉強会、技術交流や情報共有の実施
- 地域貢献活動
 - 海南市より委託の介護予防事業「いきいき百歳体操」実施
 - 年2回自治会主催「美化運動」へ参加
- 新規事業、改修工事
 - LED化を計画的に実施（本館3階・4階）
 - 高圧ケーブル復旧工事
 - 本館エアコン取替
 - 本館東側給湯器ポンプユニット取替工事
- 感染症への対応
 - 標準予防策、環境整備など感染対策の徹底
- 新型コロナウイルス感染症に関する補助金
 - 両立支援等助成金
 - 新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応助成金
 - 和歌山県介護サービス事業所等サービス提供体制確保事業補助金
- 物価高騰・水光熱費高騰に関する補助金
 - 和歌山県物価高騰対策支援金
- その他交付金
 - 雇用支援機構 障害者雇用調整金

2. 運営状況(稼働率、利用者数)

※()の数値は対前年度の増減

高齢者事業

- 特養(稼働率)

事業所名	2022年度	2023年度
緑風苑 (入所)【100名】	100.0%	99.5%(▲0.5%)
(ショート)【20名】	75.1%	69.1%(▲6.0%)

- 通所介護(稼働率)

事業所名	2022年度	2023年度
平成デイサービスセンター海南【22名】	88.2%	87.1%(▲1.1%)

- 居宅(ケアプラン数)

事業所名	2022年度	2023年度
緑風苑居宅介護事業所(要介護)	785件	885件(+100件)
(要支援)	445件	418件(▲27件)

2024年 6月 4日

2023年度 事業報告

社会福祉法人 和生福会

対象事業所

高齢者事業

緑風苑(特養)【定員:入所-100名 ショート-20名】

平成デイサービスセンター海南(通所介護)【定員:22名】

緑風苑居宅介護支援事業所(居宅)

高齢者事業

緑風苑(特養)【定員:入所-100名 ショート-20名】

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 特養:前年度よりの加算継続算定、介護職員等ベースアップ等支援加算算定、補助金(サービス提供体制確保事業補助金・物価高騰対策支援金等)により増収(101.6%)
 - ショート:稼働率低下により減収(94.8%)
 - サービス提供体制強化加算Ⅰを算定できたため、平均単価はUPした。
 - 稼働率
 - 特養:99.5%
 - ショート:月々で変動があったが6%減少の69.1%
 - ロングショート希望者が激減した。周辺にできたサ高住や有料老人ホーム等に入所している。
 - 収支改善
 - 補助金収入があった分だけ収支改善
 - サービスの質
 - コロナも一段落し、コロナ禍で出来ていなかったレクリエーション等を再開したり、「緑風苑カフェ」と称し苑内で外出気分を味わってもらう取り組みをした。
 - 利用者や家族、また地域のニーズに沿って、近隣の医師の協力と当苑配置医師の連携の下、看取り期に入った利用者様の看取り実施を行うことが継続して行えた。
 - コロナ禍が終わったとは言え、まだまだ近隣で感染傾向があったため、、面会や外出ガイドラインを設け、感染傾向を確認しながら、テラス面会、オンライン面会、お部屋での面会等を行い、利用者様にもご家族様にも安心して頂けるよう努めた。
 - 緑まつりや家族懇談会の再開で、利用者様の普段のご様子やに楽しんで頂けた。家族様には、レクリエーション等の写真を毎月のお手紙に同封してお送りし喜んで頂けた。
 - 人材の確保、育成
 - 介護職員・厨房職員の補充は一旦できたが、新たな退職があり人材不足となっ

ている。次年度にむけた採用活動の課題となっている。

- Eラーニングを利用し、各フロアPCにて研修動画を視聴できるようにすることで、全職員が研修に参加できた。
- 今年度も継続し「職員満足度調査」を実施した。職員からの前向きな意見を取り入れたり、問題点を洗い出し解決に導けた。

○ 地域貢献活動

- 海南市より委託の介護予防事業「いきいき百歳体操」実施
- 年2回自治会主催「美化運動」へ参加

○ 改修工事及び備品購入

- LED照明取付工事(本館3階・4階)
- 高圧ケーブル復旧工事
- 本館エアコン取替工事
- 本館東側給湯器ポンプユニット取替工事
- 本館西側給湯器取替工事
- 厨房給湯器取替工事
- モジュール車椅子購入1台・リクライニング車椅子1台
- スチームコンベクション入替

● 主な指標

○ 入所

※()の数値は対前年度の増減

	2022年度	2023年度
稼働率	100.0%	99.5%(▲0.5%)
平均要介護度	3.7	3.7(±0)
単価(人・日)	14,023円	14,125円(+102円)

○ ショート

	2022年度	2023年度
稼働率	75.1%	69.1%(▲6.0%)
平均要介護度	3.3	3.0(▲0.3)
単価(人・日)	14,263円	14,238円(▲25円)

平成デイサービスセンター海南(通所介護)【定員:22名】

● 事業報告の概要

- 業績等
 - 収益
 - 本年度始めコロナ集団発生と高圧ケーブル断線による停電により、数日の営業停止を余儀なくされた。しかし、毎年積み重ねてきた平成デイ海南のサービスの認知度により、新規の問い合わせや体験利用が毎月1~5名あった。
 - 収益は前年度比96.8%で減収となった。
 - 稼働率
 - 2023年度平均稼働率が88.2%だったが、今年度は87.1%となり1.1%低下した。
 - 収支改善
 - 収益は減収、常勤の理学療法士を配置し人件費が増えたため、収支改善できなかった。
- サービスの質
 - QOLとADLの維持向上を目的としたレクリエーション実施
 - 自宅でも楽しんで頂ける(お持ち帰りして)作品作り
 - おやつバイキングや様々な地域の郷土料理提供
 - お菓子を手作りするレクリエーション等
 - 個別リハビリ実施
 - 夕食サービス実施
- 人材の確保、育成
 - Eラーニングを利用し、PCにて研修動画を視聴できるようにすることで、全職員が研修に参加できた。
 - 職員の退職はなかった。

● 主な指標

※()の数値は対前年度の増減

	2022年度	2023年度
稼働率	88.2%	87.1%(▲1.1%)
平均要介護度	2.2	2.0(▲0.2)
単価(人・日)	9,385円	9,055円(▲330円)

緑風苑居宅介護支援事業所(居宅)

- 事業報告の概要

- 業績等

- 収益

- 担当件数増加により収益は前年比109.7%となった。

- 収支改善

- 件数が増え収益は増えたが、経費も増えたため収支改善に至らなかった。

- サービスの質

- 地域ケア会議に出席し、事例検討をすることで、自己研鑽しサービスの質向上に努めた。

- 地域の他事業所との合同研修実施

- 人材の確保、育成

- Eラーニングを利用し、PCにて研修動画を視聴

- ケアマネ3名体制(特定事業所加算Ⅲ算定)

- 主な指標

※()の数値は対前年度の増減

	2022年度	2023年度
ケアプラン数(要介護) (要支援)	785件 445件	885件(+100件) 418件(▲27件)
平均要介護度	2.5	2.4(▲0.1)
単価(人・月)	11,635円	11,855円(+220円)